

## USPTO 副長官、シャロン・バーナー氏が就任

2009年10月2日  
JETRO NY 中楨、横田

米国特許商標庁 (USPTO) は本日付で、シャロン・バーナー氏 (Ms. Sharon Barner)<sup>1</sup> が副長官に任命されたと発表した<sup>2</sup>。同ポストは、昨年ピーターリン元副長官が退官した後<sup>3</sup>、当時特許局長であったドール氏が代理を務めていた時期もあるが、カッポス長官の就任により、ドール氏は特許局長に戻ったため、空席となっていた<sup>4</sup>。

USPTO の発表によれば、バーナー氏は、FOLEY & LARDNER LLP のパートナーを務め(シカゴ事務所勤務)、知財法の分野で 23 年の経験を有する米国でも最高峰の代理人(弁護士)であるとのこと。

ロック商務長官は、同発表にあたり、「(シャロン氏には)特許出願の手続き期間を大幅に短縮するよう指示した」とし、「カッポス長官は、迅速に目標達成に向けて積極果敢なアジェンダ作りに動いている。シャロン氏は、とても優れた知財代理人 (IP attorney) であり、USPTO を再生し (reshape)、包括的な特許改革法案を議会通過させるために、彼女の経験が USPTO 幹部の指導力 (leadership) に加わることは、重要である」と述べている。

また、現在、特許局長を務めるドール氏は、本日付で退官し、その後任としてロバート・ストール氏 (Mr. Robert Stoll)<sup>5</sup> が就任することが先月初めに発表されており<sup>6</sup>、これで、USPTO は、カッポス長官、バーナー副長官、ストール特許局長という新たな幹部体制が整うことになり、今後、彼らのリーダーシップのもと、課題である USPTO 改革等に向け更に本格的に取り組んでいくものと思われる。

(了)

<sup>1</sup> 略歴 (Foley & Lardner LLP ウェブサイトより) : <http://www.foley.com/people/bio.aspx?employeeid=16632>

<sup>2</sup> USPTO プレスリリース : [http://www.uspto.gov/web/offices/com/speeches/commsec\\_irl.htm](http://www.uspto.gov/web/offices/com/speeches/commsec_irl.htm)

<sup>3</sup> 080730【米国 IP 情報】USPTO、ピーターリン副長官の退官予定を正式発表 参照

<sup>4</sup> USPTO 副長官は、長官の指名に基づき商務長官が任命するとされている (米国特許法 3 条 (b)(1))

<sup>5</sup> 略歴 : [http://www.uspto.gov/biographies/bio\\_stoll.htm](http://www.uspto.gov/biographies/bio_stoll.htm)

<sup>6</sup> USPTO プレスリリース : <http://www.uspto.gov/web/offices/com/speeches/09-14.htm>